



お江戸舟遊び瓦版 1103号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

22世紀学会190回研究会 1755年リスボン地震と荒川氾濫

日 時： 2025年5月23日 18:00~20:00

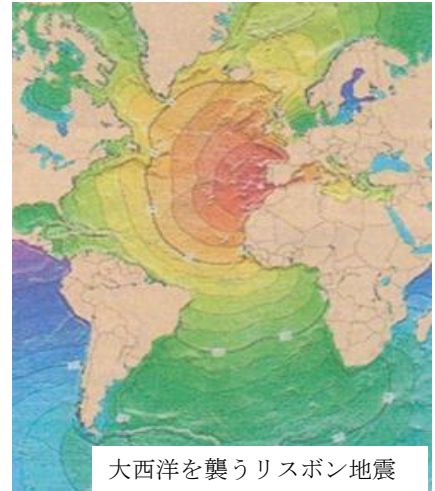
所： 中央区築地社会教育会館

話題提供： 中瀬勝義（北砂アカデミア防災塾）

1. 1755年リスボン地震 (ネットから)

今から270年前の1755年11月1日ポルトガル首都リスボンに巨大な地震が発生した。その津波は大西洋全域に及び、リスボン市の建物は約9割が倒壊し、当時の市の人口27.5万の入の内、1/3の9万入が亡くなった。った

当時の世界の覇権国ポルトガルはその後立ち直れず、政治的緊張が高まり、海外植民地拡大の勢が削れた。



大西洋を襲うリスボン地震



1755年リスボン地震 津波が襲い、建物は崩壊

津波は建物の中までも

2. 首都を襲う巨大水害：荒川氾濫

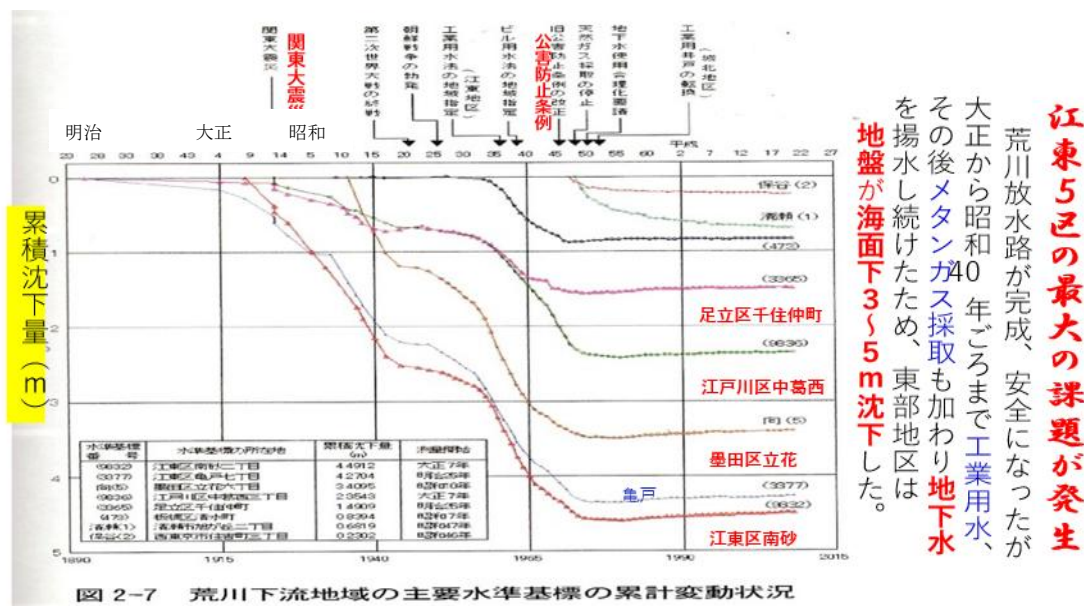
フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」令和3年3月

地球温暖化が進み台風や豪雨が大型化や30年に70%の発生確率の首都直下地震が発生し、荒川氾濫が予想されている。江東5区広域避難推進協議会はハザードマップを各戸に配布し、江東5区のほとんどが水没し、人口の9割以上の250万人が浸水し、2週間以上も浸水が引かないこと、あなたの住まいや区内には居続けることはできないと警鐘を鳴らしている。



3. 江東5区最大災害課題：マイナス地域が発生

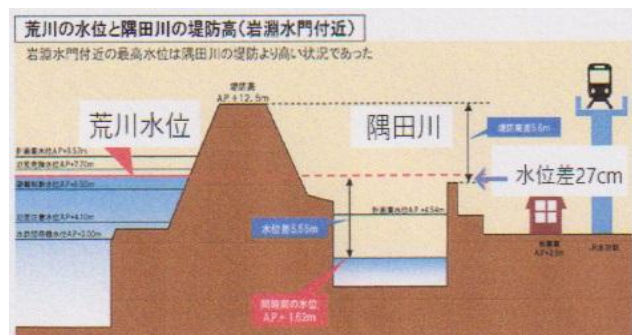
明治時代に台風による大水害が頻発し荒川放水路を建設し安全になったが、工業が発達し工業用水に地下水を揚水し、地盤が沈下、最大 5m にも。S40 年代に公害防止条例で地下水利用を止めた。



4. 最近の荒川の水害：

2019 年台風 19 号で隅田川は氾濫寸前だった。荒川の最高水位は、隅田川の堤防の天端よりも高くなり、その前に岩淵水門を閉鎖したために東京下町の洪水を免れることができた。

地球温暖化による台風、豪雨の大型化は大変深刻になっている。



5. 首都直下地震：事前非難の必要性

元都立大学教授、防災専門家中林一樹氏によると、日本は**震度7以上**が全国的に繰り返し発生し、今後**南海トラフ巨大地震、首都直下地震**が危惧される。

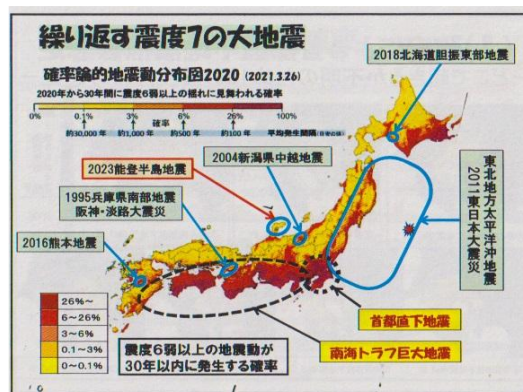
災害は火災、家屋倒壊、通信障害、帰宅困難者等が想定され、危険を避けるためには**事前避難**が急務と語る。

6. 防災訓練、住民防災意識

江東区でも大規模な防災訓練が行われているが、火災と家屋倒壊が中心で、今後の水防訓練が期待される。

7. 水害避難支援システム

水害避難支援システムづくりが中央大学有川研究室で始まっている。住民がスマホを見ながら避難場所へ誘導されるもので完成を期待するが、住民と行政と社協、企業などの連携が**必要だ**。



8. 地方創生・防災省に期待

石破政権は、地方創生と防災省により安心安全な日本づくりを目指している感がある。東京一極集中から地方創生を特に期待したい。

所感：22 世紀まで日本が生き延びないのではと危惧されて、22 世紀学会を立ち上げたスタッフから聞いた。江東 5 区マイナス地域防災も早く進まないとそんな状況が来てしまいかねない。今だけ金だけ自分だけのライフスタイルから誰一人取り残さない国づくりを自分事として前

